

質 問 事 項

該当の□にチェックをお入れください。

該当しない場合、ご意見がある場合は欄にお書きください。

【1】3市共同資源物処理施設建設は平成22年3月に市議会で「白紙を含めた抜本的見直し決議」が出され、又、6月23日庁議に於いて当市内の想定地<現東大和暫定リサイクル施設用地への施設建設の受け入れは不可能>とした東大和市としての結論をどう思いますか。

□A. 正しい □B. 間違っている C. その他

※<C>の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【1-1】【1】にて<A>と回答された方はその理由についてお答えください。

複数回答可

□A. 市民の健康への懸念 □B. 地域環境への懸念 □C. 市の財政難

□D. 地域住民の意見を尊重 □E. 建設用地が狭小

□F. 3市共同資源化推進について（報告）平成22年4月の内容を見て
計画は困難だと判断した

□G. その他

※<G>の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【1-2】【1】にて<C>の方はその理由をご記入ください。

平成22年3月の市議会「白紙を含めた抜本的な見直し決議」には、再度
地域住民と考えていく必要性から賛成しました。場所も含め再検討を考
えていくという意味です。
市民の健康、地域環境、住民意見の尊重などは、重要視するべきと当然のことと考えます。

【2】今後についても、平成22年6月の庁議の結論を尊重し、3市共同資源物処理施設の当市想定地での受け入れは不可能であるとの考えを維持されますか。お考えをお聞かせください。

A. 今後も想定地への建設は反対である

B. 今後の状況により建設に賛成する

B.今後の状況により建設に賛成するとお答えの方の理由をお聞かせください。

複数回答可

1. 今後は3市間の話し合いによっては、建設もあり得る

2. 今後、東大和市の財政が良くなった場合は建設もあり得る

3. その他

※<3.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【3】3市共同資源物処理施設建設を不可能とする3市間での話し合いに他の2市に提示できる施策がありましたらご記入ください。

【4】他市の市長が協議拒否をしている中、東大和市は3市共同資源物施設建設計画の撤回に向けて、どのように円満解決すべきなのかお考えをお聞かせください。

【5】今後、小平・村山・大和衛生組合との関係をどのように円滑に保っていくのか具体的な施策をお聞かせください。

【6】東大和市では容器包装プラスチックごみの処理（ペットボトルを除く）を民間委託しています。今後も民間委託を継続することについてどのようにお考えですか。

A. 賛成 B. 反対 C. その他

※<C.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【7】東大和市では容器包装プラスチックごみを除く、缶・ビン・ペットボトル等を現・東大和暫定リサイクル施設で行っていますが、その施設は作業による騒音の問題をかかえています。今後、どのような運用が市民や環境にとって有効と思いますか。お考えをお聞かせください。

- A. 近隣住民からの苦情等は考慮せず、現状のままで運用を行う
B. 近隣住民からの苦情等を考慮し、対策を実施して運用を行う
C. 他の地域にリサイクル場を移す
D. その他

※<D>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください。

【8】将来、人口の減少化も進み、ごみの排出量も減って行くと推測されます。計画されています構成3市による資源物処理施設は多額な建設費用に加え高額な維持管理費も税金で賄うこととなります。将来の財政圧迫要因となる可能性のある資源物処理施設（箱物）が必要とお考えですか。

A. 必要 B. 不必要

【9】今後の東大和市のゴミ処理全般について施策がございましたらご回答ください。

複数回答可

- A. ゴミ減量化のためゴミ袋の有料化を導入したい
B. 上物は作らずアウトソーシングを活用していく
C. その他

※<C.>と回答の方、及び書き添えたいことがある方はご記入ください

【10】最後に南街・立野・桜が丘地区を今後どのような地域として発展させていきたいか、お考えがあればご記入ください。

回答が遅れたこと申し訳ありませんでした。

貴団体の公開質問事項に順次お答えしますと、私たちの活動に矛盾してくる点もあり、すべてお答えできず申し訳なく存じます。別途私どもの思いと活動を述べさせていただきます。

東大和・生活者ネットワークと粕谷久美子のごみに関する取り組みは基本ごみの減量のためのリデュース、リユースを促進していくことを活動としてきています。

今や製品プラスチックのリサイクルを進めるには、新たに法制度を改正するなど、全国容器リ法ネットワークに加盟して、国に要望しているところです。

リサイクルしなければならないペットボトル、缶などワンウェイ容器の大量生産、大量消費がすすめられ、1995年から比べると2008年には4倍に増えてきている社会的状況から、3市共同資源物処理施設建設が2005年に3市理事者会で話し合われた経緯もあり、派遣議員としても合意してきた経緯もあります。

想定地の建築違反や健康不安から貴団体の活動が始まったと推察されます。ごみは生活の中で処理を考えない訳にはいきません。迷惑施設だけに場所も含め、住民の方々と活発な意見、提案のもと、東大和市が暮らしやすいまちにと考えて活動していきたいと思えます。

氏名 粕谷久美子 印